

ADSLモデム設定ガイド

FLASHWAVE 2040 M1

Ver.3.0.0



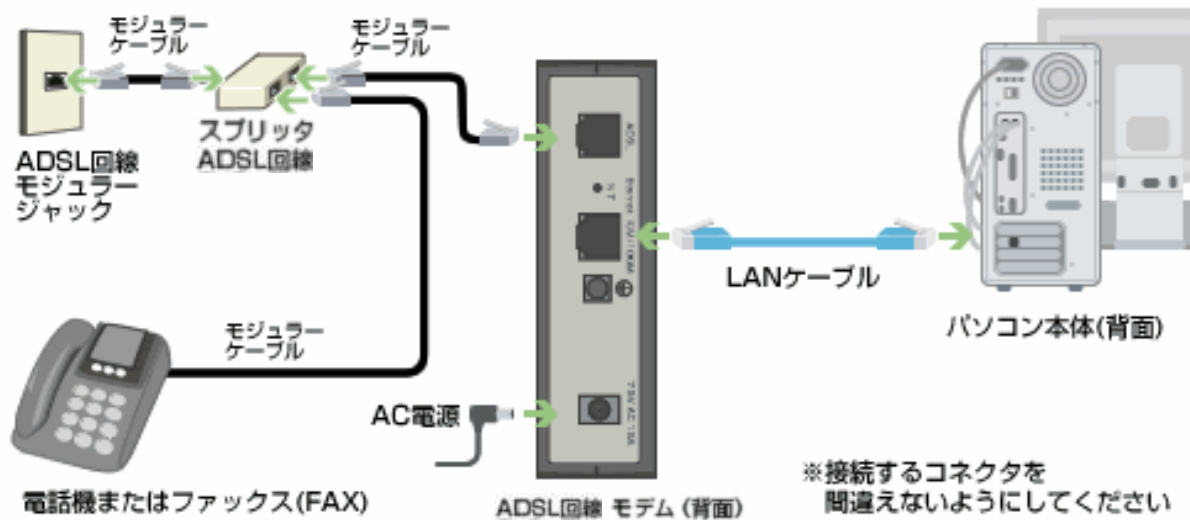
- 本書には、製品を安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。ご使用になる前に必ずお読みになり、大切に保管して下さい。
- お読みになった後は、後々お役に立つこともありますので、大切に保管して下さい。



Step

各機器を接続しましょう

配線図



1. 「ADSL回線モジュラージャック」と「ADSLスプリッタ」を接続しましょう。

「ADSLスプリッタ」に付属のモジュラーケーブル(短)で、ADSL回線モジュラージャックとADSLスプリッタの「LINE」を接続します。

2. 「電話機」と「ADSLモデム」を接続しましょう。

電話機は、スプリッタの「PHONE」ポートにつなぎ、念のため、通話ができるかご確認ください。

ADSLモデムは、付属のモジュラーケーブル(長)で「MODEM」ポートへつないでください。

タイプ2(専用回線タイプ)をご利用のお客様は、「ADSL回線モジュラージャック」と「ADSLモデム」を「モジュラーケーブル(長)」で直接つないでください。

3. 「ACアダプタ」を接続しましょう。

ACアダプタとADSLモデムを接続します。

4. 「ADSLモデム」とパソコンを接続しましょう。

ADSLモデムの「LAN」ポートと、パソコンの「Ethernet」ポートをLANケーブルで接続します。。

5. それでは、パソコンの電源を入れてみましょう。

Point 接続するコネクタにご注意ください。

配線には「モジュラーケーブル」と「LANケーブル」を使用します。

形状は似ていますが、コネクタ部分の大きさが異なります。

・モジュラーケーブル …… 「小」 ・LANケーブル …… 「大」





Step

ADSLモデムの設定をしましょう

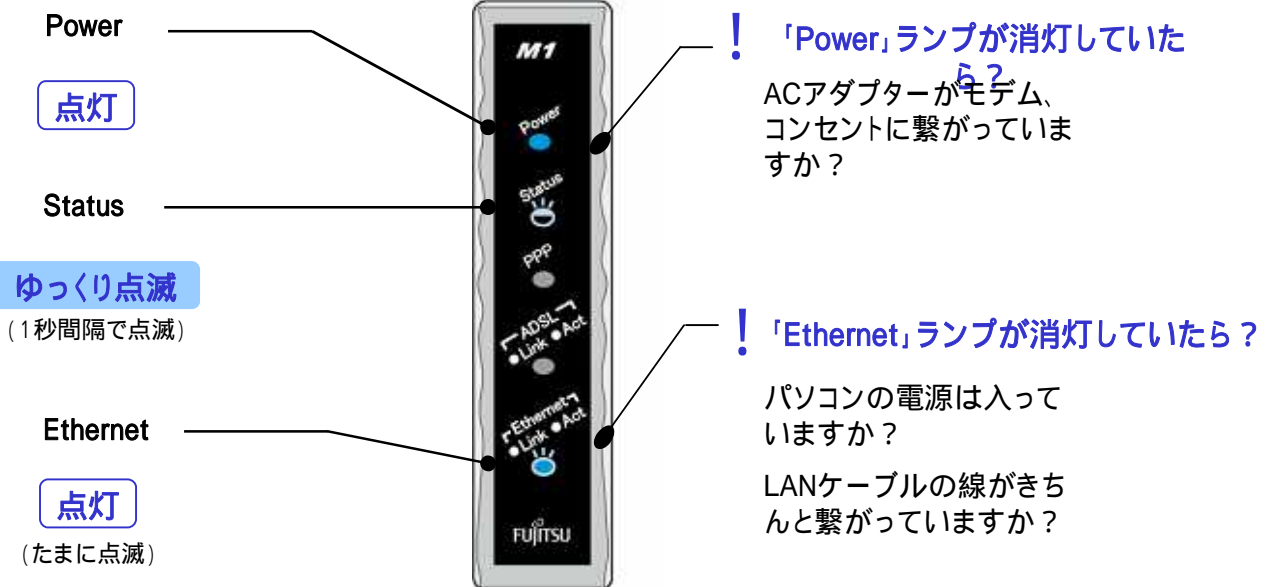
1 ADSLモデムのランプを確認しましょう

モデムの「Power」、「Status」、「Ethernet」が図のようになっているか確認しましょう。

その他のランプの状態は、今は、気にしなくても結構です。

モデム電源を入れてすぐは各種ランプが点滅していることがあります。

少し落ち着くまでお待ち下さい。



2 ADSLモデムの設定画面を出してみましょう！

パソコンの画面に移りましょう。

ホームページを閲覧するWebブラウザ「インターネット・エクスプローラ (IE)」を使ってADSLモデムの設定を行います。

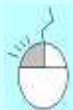
Webブラウザをひらく

① デスクトップにある



マーク

(もしくは、これに似たようなマーク)を



ダブルクリックします。

Hint



IEが見つからない場合は？

Windowsをお使いのお客様：

画面左下にある「スタート」ボタンを押して探してください。

MacOSをお使いのお客様：

画面上部メニューバーにあるリンゴの形のアイコンを押して探してください。

見つからない場合は、メーカーへお問合せ下さい。

② アドレスバーに「http://192.168.0.1」と入力し
キーボードの Enter を押してください。



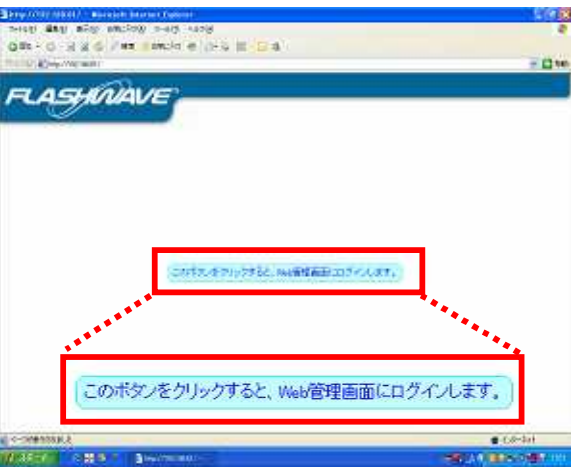
Hint

ダイヤルアップ接続の画面が表示されたら？



「キャンセル」をクリックし、「困ったときは？ ADSL 共通 (P.6)」をご参照ください。

③ 「ADSL モデム管理画面」が表示されます。



「この画面をクリックすると WEB 管理画面にログイン
します」の上で



クリックしてください。



「管理画面」が表示されなかったら？


に戻りもう一度入力を試してください。

「ネットワーク設定」を確認してください。


P.8 ~ P.15をご参照ください。

④ 「ネットワークパスワード」画面が表示されます。





「ユーザー名(U) : [admin]
「パスワード(P) : [admin]
と入力し「OK」を



クリックします。

Hint

パスワード入力の際、* 印になり何を入力されたか分からなくなりますのでご注意ください。

⑤ 「基本設定」画面が表示されます。



パスワードエラーなどで「基本設定」画面が表示されないときは？

IE の「戻る」ボタンをクリックし、のネットワークパスワード画面で「admin」がきちんと入力されているか確認しましょう。

表示されましたら次のページへお進みください。

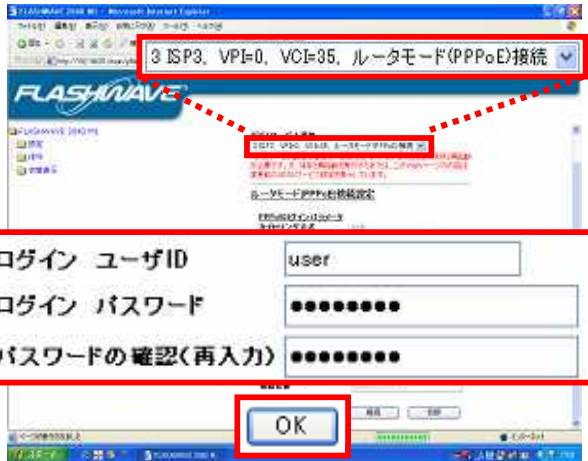
3 ADSLモデムを設定しましょう

プロバイダ(ISP)から送られてきた、認証情報(認証ID,パスワード)が記載されている書面を、お手元にご用意ください。

それでは、認証情報に記載されている「認証ID,パスワード」をADSLモデムに設定していきましょう。



接続情報の設定



- 1 それぞれを半角で入力してください。アルファベットの
大文字、小文字も区別しています。



ログインユーザーID:「認証ID」

ログインパスワード:「認証パスワード」

パスワードの確認(再入力):「認証パスワード」を、
もう一度入力します。

入力が完了しましたら基本設定の一番下にある「OK」ボ
タンをクリックします。

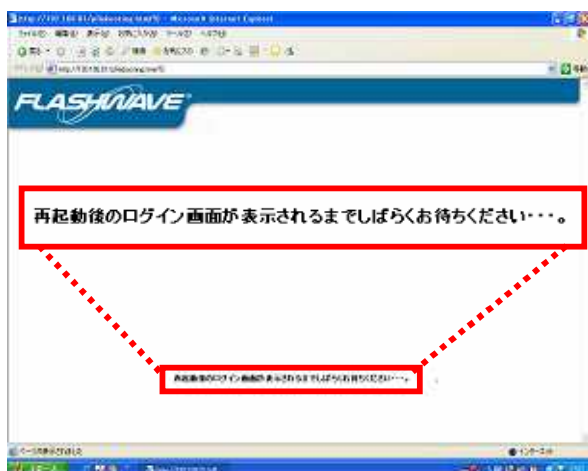


Hint

パスワード入力の際、*印になり何を入力され
たか分からなくなりますのでご注意ください。



- 2 「直ちに設定内容の保存と再起動を行う」にチェック
を入れ「OK」ボタンをクリックし設定の
保存を行います。



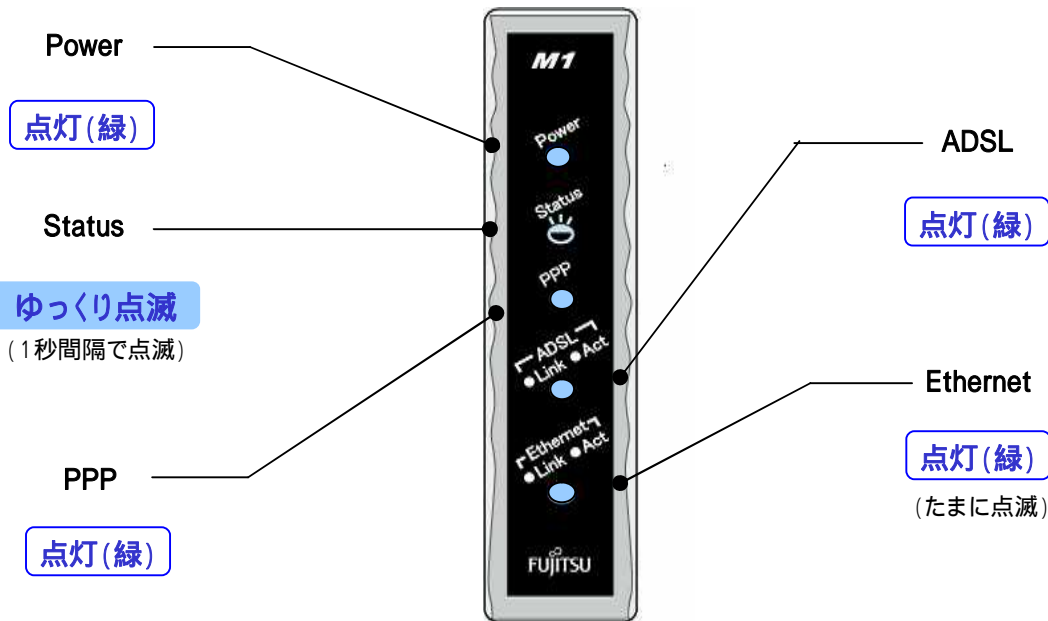
- 3 「再起動後のログイン画面が表示されるまでしばらく
お待ち下さい」という画面が出ます。
設定保存に約1分から2分ほど時間がかかります
ので、焦らずにお待ち下さい。
「ADSLモデム管理画面」が再び表示されれば設定
は完了です。

次のページへお進みください。

4

それでは最後にモデムランプを確認しましょう。

以下のモデムランプ状態を確認し、図のようであればOKです。



ランプ状態がこんなときは…

ADSL ランプが緑色にカチカチ点滅していたら？

ご契約されておりますプロバイダ (ISP) 窓口までご連絡をお願いします。

ADSL ランプが消灯していたら？

Step 各機器を接続しましょう (P.1) に戻りモデムとモジュージャックの配線を確認しましょう。

PPP ランプが赤色にカチカチ点滅していたら？

設定間違いが考えられます。

ADSLモデムを設定しようのページ (P.4) の設定にある「認証ID」「認証パスワード」の入力を再度、やり直してください。

PPP ランプが赤色に点灯していたら？

モデムからACアダプターの抜き差しを行い電源の入り切りを試みましょう。

その他、うまく接続ができない場合には、ご契約されておりますISP(プロバイダ)窓口までご連絡をお願いします。

5

それでは最後にモデムランプを確認しましょう。



アドレスバーに「<http://www.kansai-bb.com>」と入力しキーボードの「Enter」を押します。

関西ブロードバンドのホームページが表示されましたらインターネットができる状態です。

以上で、設定完了です。

困ったときは？ ADSL サービス共通

Q1 インターネット・エクスプローラを開くと、ダイヤルアップ接続の画面が表示されるんだけど？

A これまで電話回線を使ってインターネットに接続していたパソコンを ADSL 接続に変更した場合、パソコンがインターネットへ接続する必要があると判断すると、自動的にダイヤルアップ接続の画面が表示されます。この場合、インターネットへの接続方法にダイヤルアップを使わない設定へ変更する必要があります。



Hint

ここではインターネット・エクスプローラ 6.0 を使用しています。その他のブラウザをご使用の場合は、各ブラウザの解説書を参照してください。

1 インターネット オプションを開く

Windows XP の場合

「スタート」メニューから「コントロールパネル (C)」を選択してコントロールパネルを開いたら、「ネットワークとインターネット接続」を選択し、「インターネット オプション」をクリックして開きます。



Windows 95/98/Me/2000/NT の場合

「スタート」メニューから「設定 (S)」→「コントロールパネル (C)」を選択してコントロールパネルを開いたら、「インターネット オプション」をクリックまたはダブルクリックして開きます。



2 「接続」で「ダイヤルしない (C)」を選択する

「インターネットのプロパティ」が開いたら「接続」タブをクリックして画面を切り替えます。

「ダイヤルアップの設定」で、「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」や「通常の接続でダイヤルする」が選択されている場合は、「ダイヤルしない」を選択してください。



3 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」のチェックボックスを確認

また、「LAN の設定…」ボタンをクリックして「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」を開いたら、「設定を自動的に検出する」、「自動設定のスクリプトを使用する」、「プロキシサーバーを使用する」のチェックボックスが選択されていないことを確認してください。もし、チェックボックスにチェックマークがついている場合は、すべてのチェックマークを外して「OK」ボタンをクリックしてください。



Q2 ADSL モデムをつないでから、電話に雑音が入るようになったんだけど？

A ADSL は電話信号で使わない高周波の帯域を使って高速な通信を行う方式です。ADSL に使う帯域と電話の通話に使う帯域は「ADSL スプリッタ」で分岐しますが、この ADSL スプリッタより前で電話回線の分岐が発生しておりますと、電話にノイズが載ってしまう場合がございます。
よくございますのがご自宅で利用されているガスの「ガス検針器」・「ガス漏れ検知装置」が電話回線を利用しており、ADSL スプリッタとは別の箇所が分岐されていることです。同じく、「ホームセキュリティ」や「ホームフォン」などにつきましても、同様の現象が考えられます。



改善方法については状況により異なりますので、まずは **プロバイダ (ISP)** へご相談ください。最適な方法をご提案させていただきます。

Q3 電話がかかってきたら、ADSL が切れるみたいだけど？

A ご自宅に電話がかかってきたら ADSL が切れてしまう場合、NTT がご自宅の軒先に設置している「保安器」が ADSL に適合しないタイプである可能性が考えられます。弊社にて ADSL 回線の帯域調整（無償）にて改善することもございますが、現象を回避できない場合や極端に速度が落ちる現象を改善するには、「保安器」の交換（有償※）が適切な場合もございます。
まずは、**プロバイダ (ISP)** へご相談ください。原因の特定ならびに改善のご相談・提案させていただきます。



「保安器」は NTT の資産となり、弊社ならびにお客様にて取り外し・交換することはできません。

Q4 無線で接続したいんだけど？

A ご提供する ADSL モデムは「ルーター」で動作しています。
無線機器のご購入にあたっては、「ブリッジモード」もしくは「アクセスポイント」などと表記された無線機器にルーター機能を有しないものをおすすめします。
詳しくは、**プロバイダ (ISP)** へお問い合わせ下さい。



プロバイダ (ISP) では、無線機器を接続された際の基本的な設定をアドバイスさせていただきます。なお、状況により、お客様にて機器メーカーへのお問合せいただく場合もございます。

ネットワーク設定 WindowsXP の場合

LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご使用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。



(1) コントロールパネルを開く

Windows XP を起動し、「スタート」メニューから「コントロールパネル (C)」をクリックしてコントロールパネルを開きます。



(2) 「ネットワークとインターネット接続」を開く

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット接続」をクリックまたはダブルクリックして開きます。



(3) 「ネットワーク接続」を開く

「コントロールパネルを選んで実行します」の中にある「ネットワーク接続」をクリックまたはダブルクリックして開きます。



(4) 「ローカルエリア接続」を開く

LAN または高速インターネット内の「ローカルエリア接続」をクリックまたはダブルクリックをして開きます。



※「ネットワーク接続」の「広帯域」の欄に、PPPoE 設定がされている場合には、PPPoE のアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除 (F)」を選択し、クリックしてください。(例では、「マイ ISP」となっています。) ADSL モデムを使い ADSL に接続するときは使用しません



(5) インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティを開く

「ローカルエリア接続の状態」が開いたら「プロパティ (P)」をクリックします。



(6) 「ローカルエリア接続のプロパティ」を開く

「ローカルエリア接続のプロパティ」を開いたら一覧に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」という項目があるので、これを選択し「プロパティ (R)」ボタンをクリックしてください。

※一覧に表示されているチェックは消さないでください



(7) IP アドレスと DNS の設定

「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」が開いたら、「IP アドレスを自動的に取得する (O)」と、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する (B)」を選択してください。



(8) DHCP 設定の確認

「詳細設定 (V)」 ボタンをクリックして「TCP/IP 詳細設定」を開きます。
「TCP/IP 詳細設定」が開いたら「IP 設定」タブをクリックして画面を切り替え、一覧に「DHCP 有効」という表示があるか確認します。
「DHCP 有効」となっていない場合、(6) の画面で「IP アドレスを自動的に取得する (O)」と、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する (B)」を選択してあるか、再度チェックをしてください

(9) インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティを閉じる

「OK」ボタンをクリックして「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」を閉じます

(10) 「ローカルエリア接続のプロパティ」を閉じる

「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ったら「OK」ボタンをクリックして閉じます。

設定の確認

パソコン (LAN カード) と ADSL モデムが正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows XP ではコマンドプロンプトを起動して操作します。



(1) コマンドプロンプトの起動

「スタート」メニューから「すべてのプログラム (P)」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を順次選択して、「コマンドプロンプト」をクリックして実行してください



(2) ipconfig コマンド実行

コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英数文字で「ipconfig」と入力し Enter キーを押します。ipconfig コマンドを実行すると下記の各情報が表示されます。

	タイプ A/B/D	タイプ C
IP Address	192.168.0.xx (xx は 2-33)	192.168.1.xx (xx は 2-33)
Subnet Mask	255.255.255.0	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.0.1	192.168.1.1

※ IP Address、Subnet Mask、Default Gateway が上記の数値とは異なる場合は、半角英数文字で「ipconfig /renew」と入力してください。IP Address、Subnet Mask、Default Gateway の各情報が再度表示されます。

※ 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し再起動してください。

※ 各情報は図で表示されているものとは限りません。

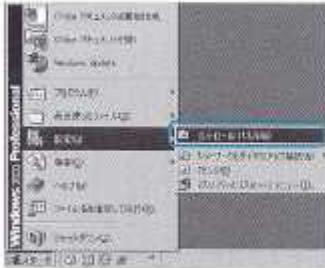
※ コマンドプロンプトを終了する場合は、キーボードから半角英数文字で「exit」と入力し Enter キーを押します。



※ IP Address、Subnet Mask、Default Gateway 欄に各情報が表示されれば設定の確認は完了です。

ネットワーク設定 Windows2000 の場合

LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご使用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。



(1) コントロールパネルを開く

Windows 2000 を起動して「スタート」メニューから「設定 (S)」→「コントロールパネル (C)」を選択してコントロールパネルを開きます。



(2) 「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

コントロールパネルの「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックまたはダブルクリックして開きます。



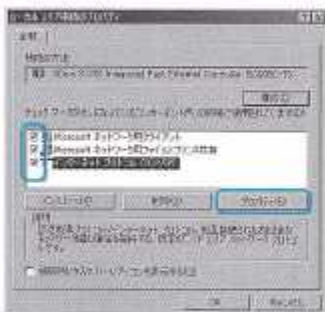
(3) 「ローカルエリア接続」を開く

「ネットワークとダイヤルアップ接続」から「ローカルエリア接続」というアイコンをクリックまたはダブルクリックして開きます



(4) 「ローカルエリア接続のプロパティ」を開く

「ローカルエリア接続の状態」が開いたら「プロパティ (P)」ボタンをクリックします。



(5) インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティを開く

「ローカルエリア接続のプロパティ」を開いたら一覧に「インターネットプロトコル (TCP/IP)」という項目がありますので、これを選択し「プロパティ (R)」ボタンをクリックしてください

※一覧に表示されているチェックは消さないでください。



(6) IP アドレスと DNS の設定

「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」が開いたら、「IP アドレスを自動的に取得する (O)」と、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する (B)」を選択してください。

IP アドレスと DNS の設定を確認したら「詳細設定 (V)」ボタンをクリックして「TCP/IP 詳細設定」を開きます。



(7) DHCP 設定の確認

「TCP/IP 詳細設定」を開いたら「IP 設定」タブをクリックして画面をきりかえ、一覧に「DHCP 有効」という表示があるか確認します。

※「DHCP 有効」となっていない場合、(6)の画面で「IP アドレスを自動的に取得する (0)」と、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する (B)」を選択してあるか、再度チェックをしてください。

(8) 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」を閉じる

IP アドレスの設定と DNS の設定 (DHCP 有効以外で、他は空白) を確認したら、「OK」ボタンをクリックして「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」を閉じます。

(9) 「ローカルエリア接続のプロパティ」を閉じる

「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ったら「OK」ボタンをクリックして閉じます

設定の確認

パソコン (LAN カード) と ADSL モデムが正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows 2000 ではコマンドプロンプトを起動して操作します。



(1) コマンドプロンプトの起動

「スタート」メニューから「プログラム (P)」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を順次選択していき、「コマンドプロンプト」をクリックして実行してください。

開きます



(2) ipconfig コマンド実行

コマンドプロンプトが開いたら、キーボードから半角英数文字で「ipconfig」と入力し Enter キーを押します。ipconfig コマンドを実行すると下記の各情報が表示されます。

	タイプ A/B/D	タイプ C
IP Address	192.168.0.xx (xx は 2~33)	192.168.1.xx (xx は 2~33)
Subnet Mask	255.255.255.0	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.0.1	192.168.1.1

※ IP Address、Subnet Mask、Default Gateway が上記の数値とは異なる場合は、半角英数文字で「ipconfig /renew」と入力してください。IP Address、Subnet Mask、Default Gateway の各情報が再度表示されます。

※ 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し再起動してください。

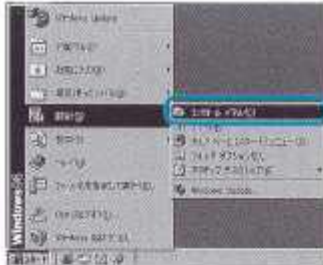
※各情報は図で表示されているものとは限りません。

※コマンドプロンプトを終了する場合は、キーボードから半角英数文字で「exit」と入力し Enter キーを押します。

※ IP Address、Subnet Mask、Default Gateway 欄に各情報が表示されれば設定の確認は完了です。

ネットワーク設定 Windows98/Meの場合

LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご使用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。



(1) コントロールパネルを開く

Windows 95/98/Me を起動して「スタート」メニューから「設定 (S)」→「コントロールパネル (C)」を選択して、コントロールパネルを開きます



(2) ネットワークのプロパティを開く

コントロールパネルから「ネットワーク」のアイコンをクリックまたはダブルクリックをして開きます。

※Windows Me において、コントロールパネルに「ネットワーク」のアイコンが表示されていない場合は、画面に表示されている「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」という箇所を選択してください。



(3) TCP/IP のプロパティを開く

「現在のネットワークコンポーネント (N)」一覧から「TCP/IP」または「TCP/IP-> <LAN カードの名前 >」という項目を選択し (※)、「プロパティ (R)」ボタンをクリックします。

※一覧に「TCP/IP -> ダイアルアップ アダプタ」という項目が表示されている場合がありますが、これは ADSL モデムを使用する LAN カードの設定とは無関係ですので使用しません



「現在のネットワークコンポーネント (N)」一覧から「TCP/IP」または「TCP/IP -> <LAN カードの名前 >」という項目を選択し (※)、「プロパティ (R)」ボタンをクリックします。

※一覧に「TCP/IP」あるいは「TCP/IP -> <LAN カードの名前 >」という該当の項目がない場合「追加 (A)」ボタンをクリックしてください。

「インストールするネットワークコンポーネント」の「プロトコル」を選択し、「追加 (A)」ボタンをクリックします。「製造元」は「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」は「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

これで「現在のネットワークコンポーネント (N)」一覧に TCP/IP が追加されます。



(4) IP アドレスの設定

「TCP/IP のプロパティ」が開いたら「IP アドレス」タブをクリックして画面を切り替えて、「IP アドレスを自動的に取得する (O)」を選択します。

※Windows Me の場合は、「ネットワークメディアの接続を検出する」のチェックマークが外れていることを確認してください。



(5) DNS の設定

「DNS 設定」タブをクリックして画面を切り替え、「DNS を使わない (I)」を選択します。



(6) ゲートウェイの設定

「ゲートウェイ」タブをクリックして画面を切り替え、「インストールされているゲートウェイ (I)」に何も登録されていないことを確認します。
この欄に何か登録されている場合は、そのアドレスをクリックして選択してから「削除 (R)」ボタンをクリックして削除してください。

(7) TCP/IP のプロパティを閉じる

IP アドレス、DNS 設定、ゲートウェイを設定、確認したら「OK」ボタンをクリックして TCP/IP のプロパティを閉じます。

(8) ネットワークのプロパティを閉じる

ネットワークのプロパティに戻り、「OK」ボタンをクリックします。

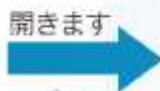
※ 使用中のパソコンによって Windows の CD-ROM をセットするようというメッセージが表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従って操作してください。

(9) パソコンの再起動

最後に「今すぐパソコンを再起動しますか?」というメッセージが表示されます。「はい (Y)」ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。
ネットワークの設定変更が必要なかった場合は、再起動を促すメッセージは表示されません

設定の確認

パソコン (LAN カード) と ADSL モデムが正しく接続・設定されているか確認したい場合、Windows 95/98/Me では「IP 設定」から確認することができます。



(1) 「IP 設定」の起動

「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行 (R)」を選択しクリックします。
「名前 (C)」の入力欄に「winipcfg」と入力し「OK」ボタンをクリックし実行します



(2) IP アドレスの確認

「IP 設定」が起動したら、IP アドレスが取得できているかどうか確認します。「Ethernet アダプタ情報」が「PPP Adapter.」と表示されている場合は右端のプルダウンメニュー▼をクリックして現在使用している LAN カード名を選択し変更してください。



(3) 「IP 設定」を閉じる

以下のような内容になっていれば、「OK」ボタンをクリックして「IP 設定」を閉じてください。

	タイプ A/B/D	タイプ C
IP アドレス	192.168.0.xx <small>(xx は 2~255)</small>	192.168.1.xx <small>(xx は 2~255)</small>
サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1	192.168.1.1



※ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが正常に設定されていない場合は、パソコンの電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し再起動してください。

※ IP アドレスが「0.0.0.0」となっていたり「デフォルトゲートウェイ」が空白になっていたりする場合は、まず「解放 (S)」ボタンをクリックして次に「すべて書き換え (W)」ボタンをクリックしてください。この操作で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの欄に各情報が表示されれば設定の確認は完了です。

ネットワーク設定 MacOS X の場合

LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご使用中の機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください



(1) システム環境設定を開く



Dock 内の「システム環境設定」アイコンをクリックして、「システム環境設定」を開きます。



(2) ネットワークの設定項目を開く



「システム環境設定」のウィンドウから「ネットワーク」をクリックします。



(3) ネットワークの種類を選択



「ネットワーク」ウィンドウの上部にある「表示」リストより、「内蔵 Ethernet」を選択します。



(4) TCP/IP 設定



「TCP/IP」タブをクリックし、TCP/IP の設定画面を表示します。設定内容が以下のようになっていることを確認します。

「IPv4 を設定」 : [DHCP サーバを参照]
「DHCP クライアント ID」 : 空白
「DNS サーバ」 : 空白
「検索ドメイン」 : 空白



(5) PPPoE のチェックを外す



「PPPoE」タブをクリックし、PPPoE の設定画面を表示します。「PPPoE を使って接続する」にチェックマークがついている場合はチェックを外します。



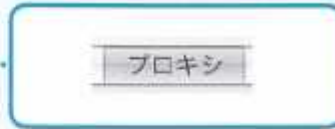
(6) AppleTalk のチェックを外す



「AppleTalk」タブをクリックし、AppleTalk の設定画面を表示します。「AppleTalk 使用」にチェックマークがついている場合は、チェックを外します。



(7) プロキシの設定



「プロキシ」タブをクリックし、プロキシの設定画面を表示します。
「設定するプロキシサーバを選択する」にチェックマークがついている場合は、すべてのチェックを外します。



(8) ネットワーク設定を保存する



変更した部分があった場合は、右下の「今すぐ適用」ボタンをクリックします。



(9) システム環境設定を終了する



メニューバーの「システム環境設定」→「システム環境設定を終了」を選択して終了します。

設定の確認

(MacOS Xでパソコン (LAN カード) と ADSL モデムが正しく接続されているかどうか確認したい場合には以下のようにしてください。



(1) システム環境設定を開く



Dock 上の「システム環境設定」アイコンをクリックして、「システム環境設定」を開きます。「システム環境設定」ウィンドウから「ネットワーク」をクリックします。



(2) ネットワークの種類を選択



「ネットワーク」ウィンドウのタブの上部にある「設定」リストより、「内蔵 Ethernet」を選択します。



(3) TCP/IP の確認



「TCP/IP」タブをクリックして TCP/IP の設定画面を表示し、IP アドレスが割り当てられていることを確認します。
・IP アドレス…192.168.0.xx (xx は 2~33)
このアドレスはすべて自動で設定されます。
※タイプ C BR10A-C2H では 192.168.1.xx となります。
※ IP アドレスの欄に情報が表示されれば設定の確認は完了です。



(4) システム環境設定を終了



メニューバーの「システム環境設定」→「システム環境設定を終了」を選択して終了します。